

月 報

フルードパワー

No. 258 2020. 12. 31

一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本 部：〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5-8号 機械振興会館内

TEL. 03 (3433) 5391 FAX. 03 (3434) 3354

西日本支部：〒651-2239 兵庫県神戸市西区櫛谷町松木234番地

川崎重工業（株）精密機械・ロボットカンパニー 企画本部内

TEL. 078 (991) 1133 FAX. 078 (991) 3186

第32回政策委員会開催される

第32回政策委員会を2020年12月23日(水)16:00～17:00に開催し、2021年度の事業計画(案)と収支予算(案)等について審議しました。初めに安藤会長の挨拶があり、その後、事務局から以下の2021年度の事業計画(案)について説明し、審議の結果、昨年度に引き続き、委員会や部会・分科会活動を中心に事業を立案し実施することで、了承を得ました。

※2021年度の事業計画の概要

1. 需要対策事業

フルードパワー産業の市場動向を把握するため、建設機械業界や半導体製造装置業界等ユーザ業界の設備投資、自動化・省力化投資動向等についてミクロ・マクロ両面から調査・分析し成果を公表する。また、フルードパワーの受注・生産・出荷動向等の定期配信の迅速化に努める。そのため、以下の事業を実施する。

①総需要委員会において、2021年・年度及び2024年・年度の油空圧機器の需要見通しを作成するとともに、必要に応じて2021年・年度の見直し作業を行

主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

第32回政策委員会の開催	1	技術調査事業	7
委員会開催・活動状況		広報PR対策事業	8
国際交流事業	4	会員ニュース	8
標準化事業/ISO 対策事業	5	今後の主要行事予定	8
標準化事業/規格事業	6	統計資料	11

(一社) 日本フルードパワー工業会

URL : <http://www.jfpa.biz/>

い関係者に資料配布する。

②フルードパワー機器の受注・生産・需要部門別出荷・輸出等市場動向に関する調査を実施し、関係者に配布する。

③需要業界等関連団体の情報や統計資料を迅速に収集し関係者に配布するとともに、必要に応じ関連団体の関係者を招いて意見交換する。

④その他需要対策に必要な事業を実施する。

2. 国際交流事業

新型コロナウィルスが世界中で猛威を振るう中、世界規模で政治経済等未だに不確定要素が多く、国際委員会としても世界の政治経済動向を注視し情報収集に努め、的確な判断ができるよう世界各国・地域動向の把握と分析がより重要となってきている。例えば、昨年11月に署名された東アジア地域包括的経済連携（RCEP）などが今後業界にどのような影響を及ぼしていくのか、また、米国大統領の交代により、米中貿易摩擦の動きなど、注視していく課題は多い。これらの動向を踏まえながら、以下の事業を実施する。

①海外のフルードパワー産業に関する情報の収集を行う。

イ) 海外フルードパワー工業会等との意見交換・連携強化を図る。

ロ) 中国、米国、欧州等海外動向に関する情報収集と分析を行い、必要に応じ講演会の開催を検討・実施する。

ハ) 国際サミット・国際統計委員会に参加し、その結果を会員に提供する。（実施未定）

②第26回 IFPEX（フルードパワー国際見本市）の開催（2021年10月）に併せ、各国のフルードパワー工業会との意見交換をする場を設け、状況の把握を行う。

③新興諸国の市場動向等について情報収集や海外市场に係わる統計データ類を整備するとともに各国の関連団体との交流を推進する。

④会員企業の海外進出状況調査を行うとともに安全保障貿易管理や公正貿易ルール等について、在外公館等と連携して情報や資料の収集を行い迅速に提供する。また、必要に応じ講演会を開催する。

⑤その他、国際交流に必要な事業を実施する。

3. 標準化事業

関連産業界のグローバル調達への対応や設計の簡素化・各産業界の合理化・高度化に貢献するため、大学関係有識者の協力を得て、ISOやJIS、団体規格の

新たな制定・改廃等以下の事業を実施する。

1) ISO 対策事業

①ISO 規格について検討し、必要に応じ制定・改正若しくは廃止するとともに、我が国提案のISO規格化の推進を図る。

イ) ISO 中央事務局から配信される各規格開発の審議案件に関して、該当する国内対策分科会にて審議を行い、日本意見として答申する。（JKA補助事業）

ロ) ISO 20145/AMD（サイレンサの排気騒音レベルの測定方法）の規格原案作成における日本案盛り込みを推進する。（JKA補助事業）

ハ) 空気圧システムのエネルギー評価に関する新規規格制定における日本案盛り込みを推進する。（JKA補助事業）

②ISO国際会議へ積極的に参加をする。

イ) ISO/TC131 関連の国際会議への委員派遣（2021.5：ウェブ会議、2021.10：日本・姫路）（JKA補助事業）

ロ) ISO/TC118/SC3 及び SC4 の国際会議への委員派遣。（JKA補助事業）

ハ) ISO/TC131/SC8/WG14 の国際会議への委員派遣

③ISO/TC131/SC7（密封装置）の幹事国業務（委員会メンバー各国との連絡・会議運営・規格開発の進捗管理等）を遂行する。（JKA補助事業）

④ISO/TC131/SC8/WG14（水圧ポンプの試験方法）の幹事国業務（委員会メンバー各国との連絡・会議運営・上位SCとの連携等）を遂行する。

⑤2021年10月に予定されているISO/TC131国際会議の日本（姫路）開催に関して、滞りなく完了するよう、万全を期して準備を行う。

2) 規格事業

日本産業規格（JIS）、日本フルードパワー工業会規格（JFPS）について審議し、必要に応じ制定・改正、若しくは廃止する。

①日本産業規格（JIS）

（継続） 1件

イ) JIS B8392-3 空気圧一圧縮空気一第2部：オイルミストの試験方法（2021.1開始）

（新規） 5件

イ) JIS B8672-1 空気圧一試験による機器の信頼性評価一第1部：通則（2021.7開始予定）

ロ) JIS B8672-2 空気圧一試験による機器の信頼性評価一第2部：方向制御弁（2021.7開始予定）

ハ) JIS B8672-4 空気圧一試験による機器の信頼性評価一第4部：減圧弁（2021.7開始予定）

ニ) JIS B2355-2 油圧・空気圧用及び一般用途用金属製管継手-0 リングシールによるメートルねじボ

ート及び継手端部—第2部：高圧用（Sシリーズ）
継手端部—寸法・設計・試験方法・要求事項（2021.7開始予定）

ホ) JIS B8665 油圧ーバルブ取付面及びカートリッジ形弁取付穴形状の識別コード（2021.10開始予定）
②日本フルードパワー工業会規格（JFPS）

（継続） 1件

イ) JFPS 2027 空気圧機器の制御に関する用語（制定）

4. 技術調査事業

フルードパワー工業会として SDGs の実現に貢献すべく、フルードパワー産業、関連産業技術及び水素エネルギー等の高度化・合理化・省エネについてフルードパワーシステム学会とも連携し、新技術情報や新製品情報を収集し提供を行う。そのために、油圧部会、空気圧部会並びに水圧部会で以下の事業を実施する。また、昨年技術企画委員会にて議論された IoT 化、電動化、ハイブリッド化や政策委員会で提案された水素関連技術等について、部会とは別に専門の委員を集めた研究会等の実施を検討する。

1) 油圧部会及び空気圧部会

①ユーザ業界の最新の技術動向、及び関連産業界全体の IoT、AI、スマート化、ディープラーニング、設備予知保全等のトレンドを把握するための技術講演会を、ウェブ会議を前提に実施すると共に、機関誌の記事として掲載して広く会員企業に伝える。
②若手技術者のスキルアップとコミュニケーション能力の向上のため、若手技術者懇談会（油圧部門、空気圧部門）を継続して開催する。懇談会は、講師を招聘しての参加者全員が発表する方式の勉強会及び受け入れ可能な企業への工場見学会など計 2 回/年程度計画し実施する。状況を見て、ウェブ会議方式での実施も検討する。
③RoHS2 規制、REACH 規制、及び各規制と CE マークとの関連、HACCP の義務化対応等、フルードパワーに関する安全規格に関する情報収集と提供を継続実施する。

④中央職業能力開発協会からの要請に応えて、油空圧機器部門の中央技能検定委員（特級・1級・2級）の推薦、及び必要に応じて会員企業への情報提供を行う。

⑤その他、油空圧技術に関する諸問題に対応する。

2) 水圧部会

①ADS の更なる普及促進を図るため、PR（広報）グループにて HP 及びブログの運用を拡充強化し、MR（市場調査）グループでは ADS 需要分野として期待

される各種見本市への調査を継続して行う。

- ②IFPEX2021 に水圧部会として、特別展示「水圧コーナー」の出展を検討し、必要に応じて実施する。
- ③ADS の国際標準化原案を検討する「水圧システム分科会」活動に協力していく。
- ④内外の水圧技術（知的財産権問題も含む）の動向や情報収集等を行うとともに、必要に応じ国際会議への参加を検討する。
- ⑤その他水圧技術に関する諸問題に対応する。

5. 広報・P R 事業

電子メールや HP 等を活用し、会員企業に適切な情報を迅速に提供する他、工業会の活動状況等について会員企業はもとよりマスコミ・シンクタンク・金融機関等にも広く提供し、工業会活動の「見える化」を一層進める。

- ①昨年度更新した HP の英語簡略版を作成し、海外向けに情報を発信する。
- ②編集委員会の企画に従い、産業界や世の中のトレンドに沿ったテーマを取り上げる機関誌「フルードパワー」（季刊）を発刊して会員企業はもとより関係機関等にも広く配布する。また、記事を HP の会員サイトに掲載し、広報・PR に努めるとともに配布先の拡充活動も継続して進める。
- ③工業高校・高等専門学校・大学等における教育資料、副教材等への活用として、「フルードパワーの世界」デジタルブック版の普及を図る。
- ④「月報フルードパワー」を、会員企業はもとより関係機関等に電子配信するとともに HP に掲載し広く広報に努める。
- ⑤HP の内容をタイムリーに更新し、会員及び学会・関連関係者への情報開示を積極的に進める。
- ⑥その他広報・PR 活動に関する事業を推進し、当会が開催する講演会や技術講座、出版物等について積極的な広報・PR 活動を行う。

6. 中小企業関連事業

中小企業を取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染症対策による人や物の動きの制限等から発生する内外経済の停滞、米中貿易摩擦等の国際情勢の変化などに対応できる経営体質の強化は喫緊の課題であり、国の労働政策、中小企業施策等々関連情報の収集とその活用は重要である。これに対応するため、中小企業委員会と中小企業 WG の活動を中心として、以下の事業を実施する。

- ①需要業界や中小企業施策等の動向について経済産業省等と連携して迅速に情報を収集し提供し、必要に応じて視察等を行う。

- ②中小企業 WG では、委員会の円滑な運営を図るために企画調整を行うとともに、中小企業特有の共通した課題を抽出し、解決策について検討し、これを委員会合同で議論し必要に応じて研修・視察を行う。
- ③中小企業を支える福利厚生事業の「共済保険（生命・傷害）制度」の参加企業の拡充を図る。
- ④その他中小企業の振興に必要な事業を実施する。

7. 振興対策・PL・その他事業

フルードパワー業界をより広く知らしめ、業界の更なる発展に資するために、IFPEX 実行委員会にて、その企画・実施を行うとともに、工作機械関連団体協議会を通じ JIMTOF2022 の準備を行うとともに、PL など業界を取り巻く様々なリスク等について情報交換の場を広げる。また、年始会・総会・支部総会等を通じ、学会等業界関係者との交流を深め、業界の振興・発展を図る。

1) 振興対策事業

- ①第 26 回 IFPEX 2021（2021 年 10 月 6 日（水）～10 月 8 日（金）の 3 日間）を開催する。
- ②第 31 回 JIMTOF2022（2022 年 11 月 8 日（火）～11 月 13 日（日）の 6 日間）に会員企業が参加するための準備作業を行う。
- ③国内及び世界の市場動向の把握のため、産機・建機部会、シリンドラ部会、空気圧本部会を開催し、今後の市場をけん引していくとみられているインドや東南アジアの市場動向に関する情報収集を行うとともに必要に応じ海外見本市の視察や工場視察を実施する。
- ④地域経済の環境変化に対応するため、各地区部会や支部会を適宜開催するとともに、必要に応じ本部委員も出席して意見交換を行う。
- ⑤その他振興対策に必要な事業を実施する。

2) PL 対策事業（リスク対策事業）

国内 CGL（国内 PL・作業・業務遂行・施設のリスク：COMPREHENSIVE GENERAL LIABILITY）、及び海外 PL からなる団体総合保険制度の健全な運営を図るとともに、企業リスク等に関する情報収集を行う。

- ①本保険制度の基盤を強化するため、ワールドインシュアランスグループ等と連携して参加会員企業の拡大を図るため PR 活動を引き続き実施する。
- ②国内外地域を対象とした製造業者 E&O（経済損失カバー）保険制度については、引き続き関係者と連携して加入を進めていく。
- ③国内 PL 情報や海外 PL 情報及び様々な企業リスクを迅速に収集し会員企業に提供する。
- イ) ケーススタディを中心とした PL・企業リスク対

策等の講演会を開催する。

ロ) リスク、PL 関連情報を随時電子配信する。

3) その他事業

- ①新入社員、若手社員等を対象としたフルードパワー研修事業（技能士受験対策講座、基礎（初級）講座）を継続実施するとともに、新しく空気圧分野の講座開催に向けて検討・実施する。
- ②官公庁や関連団体等からの各種調査等の実施依頼と取りまとめ作業等を行う。
- ③年始会や総会後の懇談会・西日本支部総会を開催する。
- ④西日本支部活動を支援する。
- ⑤その他本会の目的を達成するために必要な事業を実施する。

※会員状況

2021 年 4 月 1 日現在の会員数は、正会員 60 社、賛助会員 63 社である。

次に上記事業を実施するため、事務局から 2021 年度収支予算（案）を説明しました。本事業計画（案）及び収支予算（案）について審議を行い、次回理事会へ上程することが承認されました。以上で審議が終了し 17:00 に会議は終了しました。

委員会開催・活動状況報告

（詳細については各担当者にご照会下さい）

~~~~~

国際交流事業

~~~~~

国際委員会

2020 年 12 月 8 日(火) 14:00～16:00

場所 機械振興会館(B3-9 会議室)、Teams 連動

出席者 新開委員長以下 14 名.

今回の国際委員会は、機械振興会館での出席者 9 名と Teams での出席者 5 名の総勢 14 名による web 連動の会議となりました。



左画面(Teams 用) と 右画面(会議発表用)



玉井課長様のご講演状況



Teams による参加者(新開委員長は下段中央)

議事

1. 新開委員長開会の挨拶
2. 藤原専務理事の挨拶
3. 2020 年度事業報告 及び 2021 年度事業計画
4. 講演 経済産業省 製造産業局
　　産業機械課長 玉井 優子 様
4-1. 米中対立を踏まえた経産省の対応
4-2. 中国経済の行方
4-3. 国際的な人の往来再開に受けた段階的措置
(発表資料は会議出席者へ配布済み)

5. その他

- ・工業会開催の委員会における談合防止のための対策について
- ・コロナ禍における各種対応について
　　経済産業省 製造産業局 産業機械課
　　夏見係長様より
- ・JFPA ホームページについての案内
　　油圧基礎講座、PL セミナーの動画サイトについて(会員ページ内)
- ・現状のコロナ禍における海外渡航の難しさについて

~~~~~

標準化事業／ISO 対策事業

~~~~~

油空圧シール分科会

日 時 12月8日(火) 13:30～16:00

場 所 機械振興会館 JFPA 会議室＋リモート参加

出席者 南主査以下 13名(うちリモート:13)

事務局 前畠

議 事

前回議事録の確認後、新規投票案件について審議し、ISO/FDIS 7425-1→Approval で投票、ISO/FDIS 7425-2→Approval で投票、とした。

次いで、ISO国際会議について情報共有した。2021年2月末までの開催予定の国際会議はコロナウイルスの影響で対面会議は中止とし、ウェブ会議での開催の指示が出ているとのこと。

また、過日開催された ISO/TC131/SC7/WG2 国際会議 (10/12、ウェブ会議)、ISO/TC131/SC7/WG3 国際会議 (10/12、ウェブ会議)、ISO/TC131/SC7/WG10 国際会議 (11/19、ウェブ会議) の参加報告があった。

次いで、JFPS_1003（油圧シリンダ用パッキンの使用・選定指針）について、改訂版が発行された旨、報告があった。

次いで、高圧水素用OリングのISO規格化について、九州大学・西村教授を中心に活動されているプロジェクトの状況報告があった。ISO/NP提案が採択され、新規プロジェクトが開始したことのこと。

次いで、JFPS見直し案件について討議した。アンケートを作成し、各委員から意見収集することとした。

次回開催：’21/3月17日、機械振興会館＋リモート参加

油空圧継手・ホース分科会

日 時 12月15日(火) 13:30～16:00
場 所 機械振興会館 JFPA会議室＋リモート参加
出席者 岩崎主査以下6名(うちリモート:6)
事務局 前畑
議 事

前回議事録の確認後、ISO投票案件について、既に投票済み案件の報告があり、ISO/SR_1179-4→Confirmで投票済み、ISO/SR_12151-2→Confirmで投票済み、ISO/SR_12151-4→Confirmで投票済み、ISO/SR_12151-5→Confirmで投票済み、ISO/SR_15171-1→Confirmで投票済み、ISO/SR_16028→Confirmで投票済み、ISO/SR_6149-2→Confirmで投票済み、ISO/SR_6149-3→Confirmで投票済み、ISO/SR_8434-3→Confirmで投票済み、ISO/SR_8434-6→Confirmで投票済み、とのこと。

また、新規投票案件について審議し、現在投票に掛かっているISO/FDIS_19879、ISO/SR_TS11686、ISO/DIS_12151-3について確認し、各委員で検討することとした。

次いで、ISO国際会議について情報共有した。2021年3月末までの開催予定の国際会議はコロナウイルスの影響で対面会議は中止とし、ウェブ会議での開催の指示が出ているとのこと。

次いで、JIS_B2355-2(対応国際規格: ISO_6149-2)の改正に関して、各分担の検討内容について、討議した。

次回開催：’21/3月10日、機械振興会館＋リモート参加

*ISOの動き

投票に付されているISO規格案(FDIS, DIS)

(TC131)

ISO/FDIS_19879, Metallic tube connections for fluid power and general use - Test methods for hydraulic fluid power connections

ISO/DIS_15086-3, Hydraulic fluid power - Determination of the fluid-borne noise characteristics of components and systems - Part 3: Measurement of hydraulic impedance
ISO/DIS_12151-3, Connections for hydraulic fluid power and general use - Hose fittings - Part 3: Hose fittings with ISO 6162-1 or ISO 6162-2 flange ends

~~~~~

#### 標準化事業／規格事業

~~~~~

油空圧シリンダ分科会

日 時 12月4日(金)、13:30～16:00
場 所 機械振興会館 JFPA会議室＋リモート参加
出席者 渡部主査以下6名(うちリモート:5)
事務局 前畑
議 事

前回議事録の確認後、ISO国際会議について情報共有した。2021年2月末までの開催予定の国際会議はコロナウイルスの影響で対面会議は中止とし、ウェブ会議での開催の指示が出ているとのこと。

次いで、JIS_B8366-2の工業会規格(JFPS)化について審議した。各委員でJFPS案を検討し、指摘事項を収集することとした。

次回開催：’21/3月11日、機械振興会館＋リモート参加

空気圧バルブ分科会

日 時 12月9日(水)、13:30～16:00
場 所 機械振興会館 JFPA会議室＋リモート参加
出席者 夏目主査以下7名(うちリモート:7)
事務局 前畑
議 事

前回議事録の確認後、ISO国際会議について情報共有した。2021年2月末までの開催予定の国際会議はコロナウイルスの影響で対面会議は中止とし、ウェブ会議での開催の指示が出ているとのこと。

次いで、ISO/SR_19973-2に関する日本回答の確認を行った。

次いで、JIS B8672-2(空気圧—試験による機器の信頼性評価—第2部：方向制御弁)の改正について討議した。対応国際規格(ISO_19973-2)の改正内容の確認及び作業分担を決定し、次回以降審議することとした。

次回開催：’21/2月24日、機械振興会館＋リモート参加

空圧信頼性分科会

日 時 12月11日(金) 13:30~16:00
場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート参加
出席者 妹尾主査以下6名(うちリモート:6)
事務局 前畑
議 事

前回議事録の確認後、ISO国際会議について情報共有した。2021年2月末までの開催予定の国際会議はコロナウイルスの影響で対面会議は中止とし、ウェブ会議での開催の指示が出ているとのこと。

次いで、JIS_B8672-1(空気圧一試験による機器の信頼性評価—第1部：通則)の改正について審議した。前回分担した範囲に基づき、対応国際規格(ISO_19973-1)原文と比較しながら原案修正作業を実施した。

次回開催：'21/3月18日、機械振興会館+リモート参加

空気圧システム分科会

日 時 12月16日(水) 13:30~16:00
場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート参加
出席者 鈴木主査以下6名(うちリモート:6)
事務局 前畑
議 事

前回議事録の確認後、ISO国際会議について情報共有した。2021年3月末までの開催予定の国際会議はコロナウイルスの影響で対面会議は中止とし、ウェブ会議での開催の指示が出ているとのこと。

次いで、ISO_1219-3(Graphical symbols and circuit diagrams — Part 3: Symbol modules and connected symbols in circuit diagrams)のJIS化(JIS_B0125-3)について、空気圧システム分科会意見を盛り込んで油圧システム分科会に修正頂いた原案を確認した。本原案にて、規格協会様式調整とJIS原案作成委員会審議資料として提出することとした。

次回開催：'21/2月8日、機械振興会館+リモート参加

~~~~~  
技術調査事業  
~~~~~

技術委員会空気圧部会第573回特許分科会

日 時 12月18日(金) 13:30 ~ 14:40
場 所 Web会議
出席者 井野幹事以下5名
事務局 吉田
議 事

はじめに前回議事録及び配付資料の確認を行った。公報の検討と無効理由調査について、1件については弁理士作成の見解書(案文)が提出され、正式な見解書の提出を求めるとした。2件については引き続き調査を行うとした。特許異議申立および無効審判・検討経過チェック表の内容を確認し承認を得た。

次回開催：1月29日(金) Web会議

技術委員会 水圧部会第5回幹部会

日時 12月2日(水) 10:30~11:20
場所 Web会議
参加者 4名
事務局 大橋

1. IFPEX2021 出展見込水圧機器・システム一覧

井口委員作成の資料に関して、出展の可能性のある企業名と出展見込品の説明を受け、意見交換を行った。また、パンフレット・パネルについても作成方針と概略費用(見積額)を確認した。

今後、出展企業の追加調査を行い、出展見込品については、概略仕様を追加して一覧表として完成させることとした。

2. 次回開催：12月中旬以降として別途調整する。

技術委員会 技術企画小委員会(第3回)

日 時 12月7日(月) 10:30 ~ 11:00
場 所 Web会議
出席者 井川空気圧部会長、満嶋油圧部会長
事務局 大橋
議 事

1. 事前配布趣意書(案)について

「IoT推進部会」の名称にて整理した事前配布資料に関して、構成委員、部会の進め方と活動内容、日程などについて意見交換を行った。その結果、現段階では原案のまま最終案とすることとした。

次回開催：1月以降、状況に応じて開催する。

技術委員会 水圧部会第6回幹部会

日時 12月23日(水) 10:30~11:15
場所 Web会議
参加者 4名
事務局 大橋

1. IFPEX2021 共同展示計画案の確認と検討

前回提示された資料に仕様等を追記した最新資料に関して、井口委員から説明を受けた後、意見交換を行った。当案はタイミングを見て藤原専務に提出することとした。

2. 次回開催：2021年1月の水圧部会及び幹部会を開催する（別途調整）。

~~~~~

広報・PR関連事業

~~~~~

第129回編集委員会WG

日 時 12月2日（水）15:00～16:00

場 所 Web会議

出席者 宮主査以下11名

事務局 大橋

議 事

1. VOL.35年間記事企画

2021年の年間企画表にて、IFPEX2021開催が決まったことによる見本市関連特集号の追加（夏号）、及び予知保全特集（その3）の掲載号移動（夏号から秋号）の説明を事務局から行った。年間を通じて、すべての号が特集号となり記事数及び頁数は充足している。このほか前回以降の執筆者決定記事及び未定記事分類を確認したのち、ルポ訪問先の決定が必要であることを説明した。

2. 記事提案

新規または進展記事提案が9件あり、それぞれ提案者から説明を受け、年間企画と照合して未定記事分類の検討を行った。この結果、春号、夏号のルポ訪問先、及び夏号、2022年新年号の海外の窓の執筆者が決まった。加えて、予知保全特集（その2.1）の寄稿辞退対策に関して現状を説明し、また、SDGs記事の取り扱いについて審議した。

4. その他

- ・委員交代：永仮委員が異動のため退任することになり挨拶をしていただき、引き継ぎ予定者の紹介を受けた。
- ・第99回本委員会：年明けに委員長及び顧問委員の都合を伺いながら、Web会議を前提に5月以降で日程を調整する。
- ・第130回WG：2021年3月後半で調整する。

~~~~~

会員ニュース

~~~~~

☆本社移転

2020年12月1日付にて、下記の賛助会員が本社事務所の移転をされました。

会社名：出光興産株式会社

所在地：〒100-8321

東京都千代田区大手町1-2-1

~~~~~

今後の主要行事予定

~~~~~

* 2021年

☆3月3日（水）第90回理事会（書面審議）

☆3月26日（金）第33回政策委員会

（時 間）16:00～17:00

（場 所）芝パークホテル

☆4月23日（金）第91回理事会

（時 間）15:30～16:50

（場 所）ザ・プリンスさくらタワー高輪

2F「コンファレンス」

理事会懇親会

同 上 17:00～18:30

2F「コンファレンス」

☆5月20日（木）第22回定期総会

（時 間）15:30～16:50

（場 所）東京プリンスホテル

「サンフラワーホール」

総会後の懇親会

（時 間）17:00～18:30

（場 所）東京プリンスホテル芝公園

「マグノリアホール」

☆5月21日（金）第60回JFPA懇親ゴルフ会

（場 所）詳細未定

~~~~~

12月に開催された当会各委員会に出席された皆様は以下の通りです。（敬称略）

~~~~~

政策委員会

開催日 12月23日（水）

出席者

委員長 安藤 毅（東京計器）

委 員 丸山 進（SMC）

〃 宮内壽一（甲南電機）

〃 十万幹雄（神威産業）〃

〃 嶋村英彦（川崎重工業）

〃 向 恭男（大生工業）

〃 古川清二（税理士法人ビランツ）

（国際交流事業）

国際委員会

委員長 新開 諭 (甲南電機)

副委員長 澤田啓支朗 (タイヨーインタナショナル)

講演者 玉井優子 (経済産業省)

夏見祐奈 (経済産業省)

委 員 小坂 薫夫 (イハラサイエンス)

〃 渋澤 敏 (コガネイ)

〃 宮坂 篤 (油研工業)

〃 風間英朗 (日本アキュムレーター)

〃 石渡雅史 (SMC)

〃 前田藏人 (三菱電線工業)

〃 久世 和彦 (CKD)

事務局 藤原達也 (日本フルードパワー工業会)

〃 大熊正博 (日本フルードパワー工業会)

(標準化事業／ISO 対策事業)

油空圧シール分科会

開催日 12月8日(火)

出席者

主 査 南暢 (バルカー) ※

委 員 宗岡祥平(NOK) ※

〃 太田正貴 (阪上製作所) ※

〃 高牟礼辰雄 (J F P A) ※

〃 宮本博夫 (NOK) ※

〃 平木秀樹 (三菱電線工業) ※

〃 但木郁夫 (荒井製作所) ※

〃 寺島剛資 (エア・ウォーター・マツハ) ※

〃 大関浩太郎 (SMC) ※

〃 曽谷崇 (甲南電機) ※

〃 山田真の介 (TAIYO) ※

〃 菊地大輔 (東京計器) ※

〃 真田秀幸 (日東工器) ※

※印はリモート参加

油空圧継手・ホース分科会

開催日 12月15日(火)

出席者

主 査 岩崎宏文 (イハラサイエンス) ※

委 員 金城良 (東京計器パワーシステム) ※

〃 間口雄太 (ニッタ) ※

〃 辻田智 (日東工器) ※

〃 石井克昌 (横浜ゴム) ※

〃 横岡慎吾 (ブリヂストン) ※

※印はリモート参加

(標準化事業／規格事業)

油空圧シリンドラ分科会

開催日 12月4日(金)

出席者

主 査 渡部文雄 (日本シリンドラ共同事業)

委 員 根本慎一郎 (SMC) ※

〃 脇 和文 (SMC) ※

〃 塩田浩司 (コガネイ) ※

〃 東川智信 (TAIYO) ※

〃 鈴木一成 (妙徳) ※

※印はリモート参加

空気圧バルブ分科会

開催日 12月9日(水)

出席者

主 査 夏目清辰 (CKD) ※

委 員

〃 山崎慎也 (SMC) ※

〃 田路渡 (甲南電機) ※

〃 保坂周一 (コガネイ) ※

〃 石毛浩二 (TAIYO) ※

〃 八手又秀浩 (日本ピスコ) ※

〃 鈴木一成 (妙徳) ※

※印はリモート参加

空圧信頼性分科会

開催日 12月11日(金)

出席者

主 査 妹尾満 (SMC) ※

委 員 佐々木政彰 (アズビルTACO) ※

〃 富田吉基 (CKD) ※

〃 中古弘 (TAIYO) ※

〃 中曾根祐司 (東京理科大学) ※

〃 貞田一志 (横浜国立大学大学院) ※

※印はリモート参加

空気圧システム分科会

開催日 12月16日(水)

出席者

主 査 鈴木一成 (妙徳) ※

委 員 佐々木政彰 (アズビルTACO) ※

〃 張本護平 (SMC) ※

〃 吉田典世 (甲南電機) ※

〃 寺木功一 (コガネイ) ※

〃 増尾秀三 (CKD) ※

※印はリモート参加

(技術調査事業)

技術委員会 水圧部会幹部会

日時 12月2日（水）

出席者

委 員 内田 晃（日本アキュムレータ）
〃 井口 務（廣瀬バルブ工業）
〃 田邊康弘（廣瀬バルブ工業）
〃 細井耕平（堀内機械）

〃 宮坂 篤（油研工業）

~~~~~

月間行事概要

~~~~~

技術委員会 技術企画小委員会

開催日 12月7日（月）

出席者

油圧部会長 満嶋弘二（KYB）
空気圧部会長 井川 彰（CKD）

<12月>

2日（水）

- ・技術（委）水圧部会幹部会
- ・広報・PR事業 編集委員会WG

4日（金）

- ・標準化（委）油空圧シリンダ分科会

7日（月）

- ・技術（委）技術企画小委員会

8日（火）

- ・ISO（委）油空圧シール分科会
- ・国際委員会

9日（水）

- ・標準化（委）空気圧バルブ分科会

11日（金）

- ・標準化（委）空気圧信頼性分科会

15日（火）

- ・ISO（委）継手ホース分科会

16日（水）

- ・標準化（委）空気圧システム分科会

18日（金）

- ・技術委員会空気圧部会 第573回特許分科会

23日（水）

- ・技術（委）水圧部会幹部会

23日（水）

- ・第32回政策委員会

28日（月）

- ・仕事納め

（広報・PR関連事業）

第129回編集委員会WG

開催日 12月2日（水）

出席者

主査 宮 能治（KYB）
副委員長 水野純一（CKD）
委 員 本間伸一（SMC）
〃 豊田敏久（川崎重工業）
〃 小辻一雄（コガネイ）
〃 中垣智英（甲南電機）
〃 松島嘉則（阪上製作所）
〃 永坂光洋（シェルブルックカンツ ジャパン）
〃 東川智信（TAIYO）
〃 諸橋 博（東京計器）

☆経済産業省ホームページ

経済産業省のHPでは①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁HPでも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>